

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

専門分野区分	ヒューマンスキル	科目名	コミュニケーション技法				科目コード	TL021A1		
配当期	後期	授業実施形態	通常				単位数	1 単位		
担当教員名	小原 和子	履修グループ	1D(JN/JT/KS)				授業方法	講義		
実務経験の内容										
学習一般目標	この授業は『日本語表現法』の継続授業です。皆さんが社会で活躍する上で必要な、対人関係を円滑に実施できるコミュニケーション力とプレゼンテーションの技術や知識の基礎を身につける科目です。これは技術者・クリエイターを目指す学生すべての学習の基礎でもあるため、OICすべての新生入生に共通する科目として設置しています。日本語表現法で身につけた“伝える伝わる日本語力”を、『発表形式』で伝えられることを目標としています。									
授業の概要および学習上の助言	「話す・聴く・フィードバックする」機会を多く設けた授業です。体を動かし、声を出し、耳を活用して“主体的な参加学習”をして下さい。演習を通じて“自己理解”を深めると同時にクラスメンバーの価値観や考え方への興味関心を深めましょう。そのことにより、人とのつながりの重要性を認識した、“相互理解”ができることを目指します。授業の進捗状況やその他の事情により、授業内容が前後したり変更したりします。次回の授業案内はその前の授業内で必ず行いますので、聞き逃したり見逃したりしないようにしてください。									
教科書および参考書	コミュニケーション技法									
履修に必要な予備知識や技能	前期科目“日本語表現法”で習得した内容									
使用機器										
使用ソフト	筆記用具、辞典(国語辞典など)									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	コミュニケーション論の基本的な用語を説明できる								
	2/3/4	交流分析・ソーシャルスタイルで得た自己理解・他者理解を基に、状況に合わせて自分の思いを言葉にして相手に分かりやすく伝えることができる。								
	2/3/4	交流分析・ソーシャルスタイルで得た自己理解・他者理解を基に、状況に合わせて相手の話を聞く態度を身につけ、要旨を捉えることができる。								
	2/3/4	自分の主張を裏付けるデータや情報を収集してまとめることで、自分の考えを整理することができる。								
	2/3/4	ビジネスコミュニケーションを理解し、自身が企画したアイデアを発表することができる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解								
		2.思考・判断			20	20				40
		3.態度				10			20	30
		4.技能・表現				10			20	30
		5.関心・意欲								
総合評価割合			20	40			40	100		
評価の要点										

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	
小テスト	授業の内容に応じた小テストを行う。
レポート	授業の内容に応じたレポート課題を出題する。
成果発表(口頭・実技)	学習の理解確認として中間発表を、そして集大成として最終発表を行う。
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業の出席・授業態度及び演習の取り組み姿勢などを考慮して、総合的に判断する。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	■授業オリエンテーション	講義・演習	
第2回	■自己理解・他者理解1	講義・演習	
第3回	■自己理解・他者理解2	講義・演習	
第4回	■価値観を伝える・受容する	講義・演習	
第5回	■正しい日本語で伝える	講義・演習	
第6回	■論理的思考の基礎	講義・演習	
第7回	■説明力	講義・演習	
第8回	■中間発表	演習	
第9回	■中間発表	演習	
第10回	■ビジネスコミュニケーション1	講義・演習	
第11回	■ビジネスコミュニケーション2	講義・演習	
第12回	■ビジネスコミュニケーション3	講義・演習	
第13回	■発表の準備	講義・演習	
第14回	■最終発表	演習	
第15回	■最終発表	演習	